

映像

広島映画サークル協議会 第407回例会 奇跡の教室 受け継ぐ者たちへ

読者プレゼント(P.15に詳細)

現代の高校生と、戦争の爪痕。

名画の感動を誰かと共有したい、そんなシンプルな理念で活動する映画サークルの自主上映会。今回は、ティーンエイジャーを描いた実話の感動作。貧困層が暮らすパリ郊外の高校に、一人の教師が赴任してきた。自分の人生に投げやりな生徒達に、教師は「アウシュビッツの研究」というテーマを投げかける。作品を通して戦争、平和、移民、差別など、考える機会になりそう。

時／7月22日(日)
13:00～、15:30～
所／広島県立美術館 地下1F講堂
料／一般1,400円
シニア・大学生1,200円
中・高校生1,000円
問／広島映画サークル協議会
TEL.090-6846-5051 (WEB有)



©2014 LOMA NASHA FILMS-VENDREDI FILM-TF1. DROITS AUDIOVISUELS-UGC IMAGES-FRANCE 2 CINEMA-ORANGE STUDIO

映像

防災啓発ドキュメンタリー映画「いつか君の花明かりには」上映会

土砂災害被災地・広島から封切り。



「大切な人のために防災してほしい」。防災意識向上を願うドキュメンタリー映画が完成した。全国各地で復興活動に取り組む人々の声を、監督の山崎光さん・小川光一さんが撮影・編集。取材は土砂災害に見舞われた広島市でも行われ、「復興交流館モンドラゴン」などが協力。広島の「その後」も伝えられる見込み。上映時間は約40分。上映後は監督らによる講演会も。

時／7月14日(土)13:30～15:30
会／合人社ウエンディひと・まちプラザ
6階マルチメディアスタジオ
料／入場無料
問／復興交流館 モンドラゴン
TEL.082-836-5539
info@mondragon.jp

美術
展示

ジブリの大博覧会 ～ナウシカからマーニーまで～

30年の歩みを一挙公開!

読者プレゼント(P.15に詳細)

これまで数々の名作を世に送り出してきた「スタジオジブリ」。設立から約30年の歩みを振り返る特別展が広島にやって来る。ポスターなどの宣伝素材を多彩に紹介。中には鈴木敏夫プロデューサー・宮崎駿監督の肉筆メモなど未公開資料の初公開も。トトロやネコバス、ラピュタの飛行船を再現した巨大展示コーナーもあり。子どもから大人まで興味が尽きない内容に。

時／7月21日(土)～9月24日(月・振休)
9:00～17:00
※7/21は10:00開場/金曜は20:00まで
会／広島県立美術館
料／一般1,400円、高・大学生1,000円
小・中学生600円
問／広島県立美術館
TEL.082-221-6246 (WEB有)



「風の谷のナウシカ」
©1984 Studio Ghibli・H

美術
展示

2018ヒロシマ平和ポスター展

世界に発信、平和のデザイン。

デザインのでヒロシマのメッセージを広く伝えようと、著名デザイナーが賛助する恒例企画「ヒロシマ・アピールズ」。今年は『キューピーハーフ』広告などを手がけた服部一成さんに決定。そのデザイン発表会と記念講演会を7月20日に開催する。翌週には、地元デザイナーや学生達による平和ポスター展も開催。過去の「ヒロシマ・アピールズ」ポスター20作もあわせて紹介する。

時・会／
講演会 7月20日(金)18:30～
オリエンタルホテル広島 3Fチャペル
展覧会 7月24日(火)～30日(月)
10:00～19:00
旧日本銀行広島支店
料／入場無料
問／d&b, セキウラデザイン
TEL.082-879-0535



各種
イベント

青少年平和・文化イベント ヒロシマの心を世界に2018

子ども・若者の声で平和を発信。

平和を願うヒロシマの心を広く伝えるため、毎年広島市が開催しているイベント。次世代を担う青少年による平和のメッセージ発表や、広島で400年近く続く上田宗箇流のお茶席、広島をテーマにした中高生による自主制作アニメ、被爆体験講話など。舟入高校演劇部による演劇上演、基町高校創造表現コースによる原爆の絵画展、平和の鉛筆画展もあり。

時／8月6日(月)
9:00～16:30
会／広島国際会議場 地下1・2F
料／入場無料
問／広島市市民局市民活動推進課
TEL.082-504-2113

